

日本文化もとをたどれば聖書から キリスト教的神道

●阿吽はアメン

とろ 正月 お屠蘇 イエスを示す
屠=殺される 蘇=よみがえる

神社の狛犬は必ず「阿吽」の形
(一方は口をあげ、一方は閉じている)

日本語「あ」「ん」最初と最後の文字 301黙示録21章6節

“わたしはアメンでありわが”である。最初であり最後である。”

語源(301黙示録5章14節)

ヘブル語・ギリシヤ語「アメン」(本当ですの意)

インド・サンスクリット語「アム」(真理の意)

中国で上記A・UMが「阿吽」となった
“万物は神からいて神によって成り神に帰する” 0-7書11章36節

日本の中のガナ文化 久保有政 著(学研)

●いろは歌にかくされた秘密 空海(弘法大師)

“いっちょら”の語源-いっちょらの服- 私たちの先祖はこの真の意味を理解し、最高の服を“いっちょら”と表現していた
一張羅(最も大事な祭りの意味)

いろは歌はヘブルの手紙第1、1章24~25節にある神の言葉である福音を表現した歌との説もある

あ	や	ら	よ	ち	い
ひ	さ	ま	む	た	り
も	き	け	う	れ	ぬ
せ	ゆ	ふ	ぬ	そ	る
す	め	こ	の	を	ほ
み	え	お	ね	ね	へ
し	て	く	な	が	と

←いち 止ら やあえ=イエスは主なり
イエス は 主
折角
いちよらや あえさけいつわ
とがなくて しすみこいれり 角々を読めば(シロイエス)
いわおとな(つて)
「最高の神は八重桜のように逆説となり、咎無くて死に、入滅した後、巖となった」
←とがなくてし(咎無くて死す)
イエスキリストの十字架

大川原出版

神道と仏教をたどす下巻 森山論 著

●日本人は国際人(混血国家-大和民族は存在しない)

遺伝子 (DNAの 分析による)	韓国	中国	沖縄	アイヌ	ヨーロッパ系他
	24%	26%	16%	8%	26%
				インド・ペルシャ アフリカ	

失われたアイデンティティ ケン・ジョセフ 著 光文社

●漢字に聖書が影響している話

船	=舟+八+口 人口=人の数=口 八人の舟 ノアの箱船 (17夫妻・18夫妻・19夫妻・20夫妻) 創世記7章17-20
禁	=木+木+示 「二本の木を示す」 神がアダムとエバに命の木と善悪を知る二本の「木」を示して「取って食べる事」を「禁」じた…聖書 創世記2章16-17
罪	=四+非 四は神の目を表す 非→否定する 神に無関心・愛の反対
造	=ノ+土+口+之 ノかんむり→鳥・牛・血・生=生命を表す 之は進・送・追・退=歩行を表す 土に神の口から命を吹き込まれて歩く 「アダム」というヘブル語は「土」を意味するアダマから 忙=心(霊)を滅ぼすこと 創世記1章27
休	=十字架の主に人が寄る事
協	=十字架を力を合わせて伝えること
救	=文(聖書)を求める事

クリエーションリサーチ人類学① 宇佐美 実 著
漢字はBC2500年頃から作られ始め秦の始皇帝時代に統一された(BC213年)

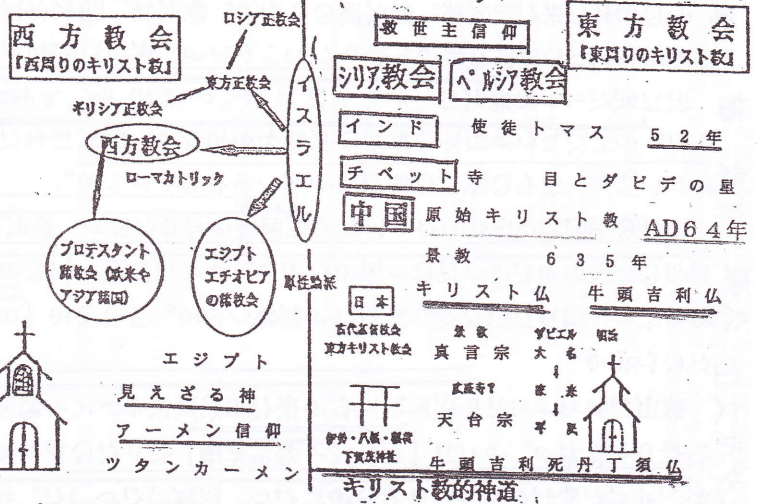
●日常の日本語にも影響がある話 (レムナント他)

(怒る)・コ ラ=人名-民数記16章1~3節
・アカン=人名-301記7章1節
・ダメータメ(ヘブル語-駄目・汚れているの意味)

(感謝)・ありがとうーアリ・ガト(ヘブル語
一私にとって幸運です)
・困る-コマル、辛い-ツアラ、金-ネ、許す-コル

東周りの刊本教 川口一彦 著(刊本新聞社)

キリスト教会の流れ
「マコ16章4節、使徒2:9」



キリスト教的仏教

●聖徳太子が定めた十善戒は景教(中国刊本教の一派)の十戒と同じである
(中国と平安京の繋がり) 西出 亨著
17条の憲法「和をもって貴しとなす」-詩篇133:1
「日いずる所の…」-詩篇113:3

古ヘブル文字(ヘブル-アラム B.C.6-4)

聖書とカタカナの比較

	k	k	q	th	f	l	lu
聖書	コ	ケ	カ	人	フ	レ	ル
日本の文字	コ	ク	カ	ト	フ	レ	ル
著	ko	ku	ka	to	fu	re	ru
	n	ts	s	h	w	.	ri
聖書	ノ	ヲ	ワ	ハ	フ	ウ	リ
日本の文字	ノ	ソ	サ	ハ	ワ	ヒ	リ
	no	so	sa	ha	wa	hi	ri

キリスト教黄金律

何事でも自分にしてもらいたいことは他の人にもそのようにしなさい
マタイ7章12節

家族

もしも親族、ことに自分の家族を顧みない人がいるなら、その人は信仰を捨てているのであって、不信者よりも悪いのです。

第1775章8節

リーダー

一番偉大な者はあなたがたに仕える人でなければなりません
マタイ23章11節

人生・社会・家庭

患難が忍耐を生み出し、忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出す。

0-75章3-5節

初めにことばがあった。ことばは神と共にあった。ことばは神であった。
301章11節

◆久保有政師・イスラエル駐日大使出演◆
3回放映

「幕屋の机」を横から見た形という。
はやしことばのヘブライ記

川守田英一著
中島靖侃編
たま出版
佐渡おけさ・「アーリヤ・サ」 われ贖えまつらん、主権者を
ソーラン節・「ヤーン・レ・ソーラン」 エホバわれにゆえり、注目せよ
撃打ち唄・「ジャン・ケン・ボン」 かくす、準備せよ、来い！
金太郎・「ハッケー・ヨイ・ノコッタ」 汝撃つべし、やつつけろ、相手を破りぬ
海神々社奉納踊・「ドオス・コイ」 征服せよ蝦夷を
よさこい節・「ヨサー・コイ」 蝦夷をうちこらせ
かつぽれ・「ヨイトンナー・ヨイ・ヨイ」 エホバ、それを与え給えり、約束通りに
さんざ時雨・「ジョン・ガイ・ナー」 異教徒は浮足立ちたり、今や

赤い鳥居のマークがイスラエルに
たくさんあふれている キヤフ*地 休息所

仮設神殿
出エジプト記 25章 23節
35章 13節
寺と神社
同居理由
・キリスト教的神道
↓↓ 〈仏教の伝来〉
・キリスト教的仏教
景教では偶像礼拝を
禁止していなかった
〈証 拠〉
兵庫県加古川市
聖徳太子御創立
秦 河勝が建立を命じた
鶴林寺(国宝)

最初の名
・刀田山四天王寺◎聖霊院ー
・刀田山 (ヘブル語で感謝)
・四天王寺
(マタイ・マルコ・ルカ・ヨハネ)
・聖霊院 キリスト教のおしえ
(雅楽の太鼓が重要文化財)

伊勢神宮の
石灯にある
3つの紋
1.菊一天皇家の紋
2.ひまわりー
ヘデ 王家の紋
一奈良、飛鳥・高松塚
古墳のひつぎの紋ー
3.カメ紋ー
ダビデ家の紋

日本文化もとをたどれば聖書から
◎「さくらさくら」をヘブル語で解説してみると◎

日本語	ヘブル語での意味
さくら (SKR)	隠れた
やよい (YYH)	唯一の神
いの (YN)	迫害される
そらは (SRH)	耐えて
みわたす (MYT)	死ぬ
かぎり (KGR)	犠牲として
かすみか (KMK)	くじ引きにされ
くもか (KMK)	取り上げられて
においぞ (NOH)	素晴らしい
いずる (YZR)	計画
いざや (IZY)	神の救い
見に (MN)	捧げ物 (神からの)
いかん (YK)	贈り物
決める	

ヘブライ大学前学長シロニー教授の手により、正確性が確認されています。

「さくら」にはヘブル語で解説してみると次のようになります。
「(神が)隠れてしまった。唯一の神が迫害を受け、耐え忍び、
死んで犠牲となり、くじで引かれ、とりあげられてしまった。
素晴らしい神の計画でもある救い、神からの贈り物 が成就
した。」

友のために自分の命を
捨てることこれ以上に
大きな愛はない
秦、畑、端、畠、波田、波陀、羽田 大きな愛はない
八田、平田、... 秦野、畠山、畑川、ヨハネ 15:13
波多野、畑中、廣幡、八幡... 侍 = サムライ
服部、羽鳥、林、神保、宋、惟宗、田村、城 = シロ
島津、長蔵、辛嶋、小松、大蔵、依智、ヤハウエ + シロ
三林、小宅、本間、高尾、高橋、原、常、= ヤシロ = 社
井手、赤染...長宗我部氏、九州を支配した 武士道 サムライ
島津氏などがあります。 = 桜・聖書か？
(飛鳥昭雄・三神たける著『秦氏の謎』学研より)

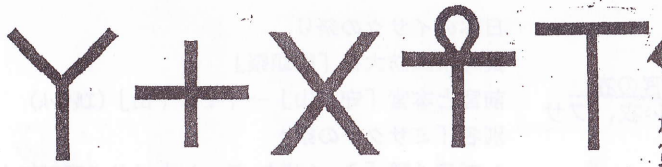
◎キリシタン禁令ーキリスト教的仏教・キリスト教的神道の証拠ではー
「悲田宗、切支丹、不受不施、此三宗共二一派也。彼らが尊む本尊ハ牛頭吉利死丹丁須仏
ト云也。大牛須仏とも云故二でうす大ウスと名乗也。此仏を頼み鏡を見れば仏面となり
また宗旨を転すれば犬と見ゆる邪法之鏡也。一度此鏡を見るものは深く牛頭吉利仏を信仰
し日本を魔国となす…」
救世主信仰 キリスト寺
信仰は救世観音？

牛頭吉利死丹丁須仏
キリスト仏=牛頭吉利仏=弥勒菩薩？
悲田院ー身寄りのない老人、子ども、貧しい人に施すところー
不受不施ー「法華経」の信者以外からの施しを受けず、
また他宗の者には施しをしない
うまやどのおうじ
馬小屋で生まれた = 聖徳太子

秦氏はイスラエルの失われた部族か
その日本にきた諸民族、諸氏族の中でも、秦氏は、巨大な文化的影響を日本に与えた。いわ
ゆる日本文化の根幹は彼らが作ったといつても、決して過言ではないくらいだ。
先に見たように秦氏は、ヤハタ神社(ヤハウエ神社)や、イナリ神社(イエス・キリスト神社)を作
った。それだけでも日本の神社の大部分を占める。秦氏はまた、伊勢神宮の創建にも深くかか
わっている。ほかの多くの神社にも深くかかわっている。
日本の全国的な祭りとなっている祇園祭を始めたのも、秦氏だ。秦蚕(はたか)機織り(はたか
おこし)和紙(わし)日本酒(日本酒)など
保治金の技術をもたらししたのも彼らである。さらに雅楽などの日本芸能、和紙、日本酒(清酒)な
久を作り、日本に広めた。ほかにも数多くある。いわゆる「日本らしさ」を作ったのは、彼ら
なのである。
秦氏のもととは中央アジアから来た古代東方キリスト教徒だったことを、先に見た。彼ら
が作った神社も、もとは「キリスト教的神道」だったのである。それはのちに仏教が日本で国
教化された時代などに、ゆがめられたり、変質したりした。さらにキリシタン迫害時代におい
ても、そのキリスト教的痕跡は薄められてしまった。

●世界大百科事典(平凡社)によれば
1.伊勢神宮外宮 豊受大神
2.稻荷神社 宇迦之御魂大神
3.「蚕の社」アメノミナカメシ
この3神は同一神であるという。
秦氏ー原始基督教徒
(八幡神社・伊勢神宮・稻荷神社・
金比羅宮・諏訪神社・平安京を造った)
とすれば日本古来の神道の神は
聖書イザヤ・ヤハエの神と同一ということ
になる。

世界一長かった切支丹禁制(キリスト教を邪教として禁止)
1596年頃～1873年(明治6年)
江戸時代、24万人がこれによって殉教した
教会は破壊され、寺が建てられた。しかし地名(祇園・八坂・大仏)は残った。
徳川幕府のキリシタン撲滅政策は実に厳しいものだった
山崎闇斎(さんざん くらやみ)は残った

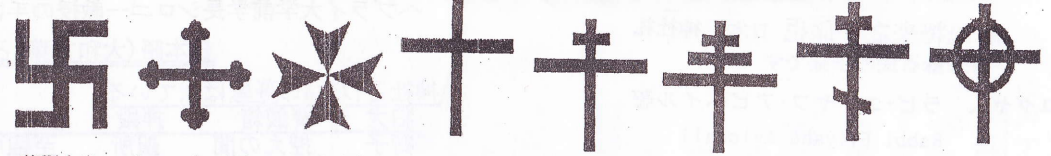


Y型十字 ギリシア十字 アンデレ十字 アंक十字 タウ型十字

伊勢神宮の内宮
地下にあるとい
われている十字架

さまざまな十字

巴紋



鉤型十字 クローバー十字 マルタ十字 ラテン十字 族長十字 教皇十字 ロシア十字 ケルト十字

失われたキリストの聖十字架「心御柱」の謎

飛鳥昭雄・三木たける 著 学研

よく知られ、毎日を生き生きとさせてくれる聖書のことば

人はパンだけで生きるのではなく

「イエスは答えて言われた。『人はパンだけで生きるのではなく、神の口からでる一つのことばによる』と書いてある。』（マタイの福音書4:4）

宝を天に積み上げなさい

「朽ちることのない宝を天に積み上げなさい。そこには、盗人も近寄らず、しみもいためることがありません。あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるからです。』（ルカの福音書12:33-34）

野の花、空の鳥を見なさい

「空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。けれども、あなたがたの天の父がこれを養ってくださるのです。あなたがたは、鳥よりもっとすぐれたものではありませんか。…野のゆりがどうして育つのか、よくわきまなさい。働きもせず、紡ぎもしません。しかし、榮華を誇めたソロモンでさえ、このような花一つほどもに着飾ってはいませんでした。きょうあっても、あすは炉に投げ込まれる野の草さえ、神はこれほどに養ってくださるのだから、ましてあなたがたに、よくして下さらないわけがありませんか。』（マタイの福音書6:28-30）

医者を必要とするのは

「イエスは彼らにこう言われた。『医者を必要とするのは丈夫な者ではなく、病人です。わたしは正しい人を招くためではなく、罪人を招くために来たのです。』（マルコの福音書2:17）

疲れて心の安らぎがほしいとき

「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。』（マタイの福音書11:28）

困難の中で希望を見出だす

「もしも私が、『私の足はよろけています』と言ったとすれば、主よ、あなたの恵みが私をささえてくださいますように。私のうちで、思い煩いが増すとき、あなたの慰めが、私のたましいを喜ばしてくださいますように。』（詩篇94:18-19）

友人に裏切られたとき

「もし兄弟が罪を犯したなら、彼を戒めなさい。そして悔い改めれば、赦しなさい。かたに、あなたに対して一日に七度罪を犯しても、『悔い改めます』と言って七度あなたのごころに来るなら、赦してやりなさい。』（ルカの福音書17:3-4）

愛について

愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、怒らず、人のした悪を思わず、不正を喜ばずに真理を喜びます。すべてをがまんし、すべてを信じ、すべてを期待し、すべてを耐え忍びます。（コリント第1 13:4-7）

あなたの隣人を愛せよ

「あなたの隣人をあなた自身のように愛しなさい。』（レビ記19:18）

「自分にしてもらいたいと望むとおり、人にもそのようにしなさい。』（ルカの福音書6:31）

悲しみを避びの心に変えるために

「だとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、わたしはわざわいを恐れません。あなたが私とともにおられますから。あなたのむちとあなたの杖、それが私の慰めです。』（詩篇23:4）

眠れない夜に

「私は身を横たえて、眠る。私はまた目をさます。主がささえてくださるから。私を取り囲んでいる幾万の民をも私は恐れない。』（詩篇3:5-6）

心記事を吹き飛ばすために

「あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。』（ペテロの手紙第一5:7）

中島 尚彦

「君が代」をヘブル語で読んでみると



龍目・ダビデの星

「かごめかごめ」をヘブライ語で読むと 中島 尚彦

君が代は	ヘブル語で読んでみると	ヘブル語での意味	かごめ かごめ	ヘブル語で読んでみると	ヘブル語での意味
千代に	קָמָה קָמָה	立ち上がる	籠の中の鳥は	קָמָה קָמָה	立ち上がる
八千代に	חֲמִשָּׁה עָשָׂר	シオンの民	いついつ出会う	חֲמִשָּׁה עָשָׂר	シオンの民
さざれ	שָׂשִׁי	神の選民	夜明けの晩に	שָׂשִׁי	神の選民
石の	אֶבֶן	残りの民	つるとかめがすべった	אֶבֶן	残りの民
巖となりて	אֶבֶן	人類の救い	後ろの正面だあれ	אֶבֶן	人類の救い
苔のむすまで	אֶבֶן	人類が救われ、神の予言が成就した		אֶבֶן	人類が救われ、神の予言が成就した
	אֶבֶן	人類に救いが訪れ、神の予言が成就した。全地あまねく宣べ伝えよ		אֶבֶן	人類に救いが訪れ、神の予言が成就した。全地あまねく宣べ伝えよ

つまり以下のような意味になります。

「立ち上がれ、神を讃えよ！神の選民であるシオンの民は、選民として喜べ！人類に救いが訪れ、神の予言が成就した。全地あまねく宣べ伝えよ！」

つまり下記のような意味になります。

「誰が守るのか？誰が契約の箱に安置されている神器を取り出すのか？それを取り除き、お守りと差し替えよ。そして誰もいない荒地に水を引き、そこを聖地として支配せよ」

蘇民将来之子孫也 日本 神社礼
将来蘇る民の子孫です

ユダヤ人 ラビ・エリヤフ・アビヘイル著
Rabbi Eliyahu Avichail
「イスラエルの失われた部族」

The Tribes of Israel
ヨセフ・アイデルバーグ(1916-1985)
京都護王神社神官見習い 天の岩戸の話-天照大神に出て
「ひい、ふう、みい……」来て下さいとお願いしたヘブル語
神武天皇 正式名「カムヤマトイワレビコスメラミコト」
ヘブライ語(サリサの王、ハハエのヘブル民族の高尚な創設者)

日本語		ヘブル語		
発音	意味	発音	表記	意味
カバウ	庇う	カバァ	אבא	隠す
コマル	困る	コマル	חמר	困る
ツモル	積もる	ツボル	צבר	積もる
コオル	凍る	コール	קור	寒さ、冷たさ
アブル	焼く	ボエラ	בעיר	焼く
ホシク	欲しく(なる)	ホシェク	חשק	欲する
キル	切る	キリアー	קריעה	やぶる
ナク	泣く	アナカー	אנחה	うめく
シヌ	死ぬ	シナー	שנה	眠る
スワル	座る	スワル	שאר	休む
ヤスム	休む	ヤスブ	ישב	座る
イム	忌む	イム	אים	ひどい
ハラウ	絞う	ハーラー	הלא	遠くへ捨てる
形容詞・他				
ツライ	辛い	ツァラー	צרה	悩み、災難
カルイ	軽い	カル	קל	軽い
ダメ	駄目	タメ	טמא	ダメ、汚れている
イツ	何時	イツ	עת	いつ
エッサ	(かみ入るときのかみ)	エッサ	אשא	持ち上げるぞ
エンエラヤー	(祭のかげ声)	エン・アハレー	אני אהלל יח	私はハハエを讃美する
コウ	こう(このように)	コウ	כך	こう(このように)
アリガトウ	ありがとう	アリ・ガド	אלי גוד	私にとって(幸運です)
ハレ	晴れ	ハレ	הלה	栄光
ケ	褻	ケ	חל	俗

神道用語にはヘブライ語起源と思われるものが多い
「ハレ」「ケ」
ハレ着(晴れ着)、ハレの日、ハレの門出、ハレの場
「ケ」-ケガレル キリスト教会では「ハレルヤ」

日本語(大和言葉)とヘブル語の類似表

神社とイスラエルの幕屋は似ている

狛犬 饗饌箱 拝殿 正殿 御神輿 供え物 神宮の衣
獅子 控えの間 聖所 至聖所 契約の箱 初穂の供え等 白い衣、フサ
月経と不浄、清め(水による)・葬儀などの慣習 古代ユダヤ教と酷似

神社の言葉 ヘブル語に似ている

・神主…カム・ナシ 祇園…シオン 太田町…ゼウス(ギリ語)
・ヤシロ・社…ヤハ・シロ 八坂…イヤーサカ 太秦…ウズマサ(イタリ)
・ナオライ・直会…ナオル 伊勢神宮…イシュ 男・人

八幡神社…アラム・ヘブル語「エフダ」の「ユダヤ」神社
・稻荷神社「INRI」(ユダヤの王ザレのイェス)から来た

蘇我 我は蘇った。
馬子 馬小屋の子
ヨハネ11章25節
「我は蘇りであり命である」

日本語		ヘブル語		
発音	意味	発音	表記	意味
ミカド	帝	ミガドル	מגדול	高貴なお方
ミコト	尊	マクト	מלכות	王、王国
ネギ	禰宜(神職)	ナギッド	נגיד	長、つかさ
ハフリ	祝(神職)	カフリ	כפר	贖いをする者
ミササギ	陵(墓)	ムトウサガ	מות טור	死者を閉ざす
アスカ	飛鳥(鳥)	ハスカ	הטוכה	ご住居
ウケ、ウカ	(古代日本語:食物)	ウケ	אכל	食物
ミソギ	禊ぎ	ミソグ	מסוג	分別・聖別
動詞				
アルク	歩く	ハラク	הלך	歩く
ハカル	測る	ハカル	חקר	調べる、測る
ホロブ	減ぶ	ホレブ	חרב	荒れる、減びる
テル	照る	テウラー	תאורה	照明
マガル	曲がる	マガル	מעול	円
トル	取る	トル	טול	取る
カマウ	構う	カマル	חמל	同情を寄せる
ダマル	黙る	ダマム	דמם	黙る
ハシル	走る	ハシ	חוש	急ぐ
ネムル	眠る	ヌム	נום	まどろむ、居眠り
カル	刈る	カラー	קרע	刈る
ユルス	許す	ユルス	ירש	取らせる
ノボル	登る	ノボー	נבה	登る
ニクム	憎む	ニクム	נקם	復讐する
アキナウ	商う	アキナフ	אקנה	買う
カブル	被る	カブル	קבר	うずくまる
カク	書く	カク	קח	書く
スム	住む	スム	שום	住む
ナマル	訛る	ナマル	נמר	訛る

日本のイサクの祭り
長野県諏訪大社「御頭祭」
前宮と本宮「守屋山」→「モリヤ山」(エルム)
別名「ミサクチの祭」
ヘブライ語「ミ・イサク・ティン」イサク奉獻に由来
の意味 若干なまったもの
神道「汚れ」とユダヤ教「汚れ」の意味が似ている
例えば「死人」に触れて「汚れた」とされ、禊ぎを
して塩や水で清めるなど

日本語		ヘブル語		
発音	意味	発音	表記	意味
名詞				
アタリ	辺り	アタリ	אתר	辺り
ヤケド	火傷	ヤケド	יקד	火傷
ニオイ	匂い	ニホヒ	ניחוחי	匂い
イト	糸	フト	חוט	糸
ヌサ	幣	ネス	נס	旗
ウデ	腕	ヤド	יד	手
カタ	肩	カタフ	כתף	肩
コトバ	言葉	キタバ	כתב	書き物
オワリ	終わり	アハリ	אחרית	終わり
キョウ	今日	カヨム	כיום	今日
サムライ	侍	シャムライ	שמרי	守る者
アガタ	県	アグダ	אגודה	集団
ヌシ	主	ナシ	נסיא	長
ツチ	土	ツイウ	טיט	土
カネ	金	カネー	קנייה	買う
カワ	皮	カファ	חיפוי	おおう
ゴドモ	子供	コタン	קטן	小さい
ワラベ	童	ワラッベン	ולד בן	男の子
コエ	声	コル	קול	声
クサ	草	クシュ	קש	わら
ミズ	水	ミツ	מיץ	ジュース
クザリ	鎖	ケセリ	קשר	つながり
サラ	皿	セイル	סיר	丸い入れ物
ヤリ	槍	ヤリ	ירי	射る
アシタ、アサツテ	明日、明後日	アテイド	עתיד	未来
ハズカシメ	辱め	ハデカシム	הקדישם	名を踏みにじる

追記: 祇園(京都)→シオン(ヘブル語)
だいうす町(京都)→デウス(ラテン語)
いさら井(京都 広陵寺そば)→いさーイエス
らいー羊飼いい } アラム語

レムナント2005年4月号

ヘブライ大学前学長シロニー教授の手により、正確性が確認されています。